

※このプリントは必ず保護者の方に渡してください。



1年出前授業／聴覚障がいについて知ろう！

2学期が8月27日から始まり、1年では8月29日(水)に、大阪府立中央聴覚支援学校の先生に出前授業に来ていただき、聴覚障がいについて学習しました。教室では、本校の支援学級の先生の授業で、難聴体験として、「きこえにくい」とはどんな感じで、どのような気持ちになるのかを、模擬体験を通して学ぶことができました。



実際の体験を通して、傷がいについて考えることができ、仲間を自然に思いやれる心豊かな人間に育ってほしいと願っています。

9月1日防災の日／土曜授業で災害に備え訓練！

9月1日(土)の土曜授業では、防災訓練を行いました。防災への意識や知識を高め自ら災害に備える「自助」、災害時に地域と連携して円滑に助け合う「共助」を目的として行いました。

中学校では初めて町会ごとに集まっての活動となりました。自分の住んでいる身近な友だちを知り、地域の一員として助け合える関係づくりも、



■東三国中ホームページ <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j642394> ■携帯メール連絡網 hmc-pta@ktaiwork.jp

防災・減災を進めるために大切なことだと思います。先生たちも町会ごとの生徒一覧表に出欠をチェックしたりと、実際の場面を想定した訓練となりました。

淀川区役所防災担当の方から、「熊本地震・避難所での現状と家庭の備えー災害時の自助・共助ー」についての講話を来ていただき、地震のメカニズムや家具の配置などについてもお話をいただきました。23年前の阪神・淡路大震災では、救助された人の98%が自助・共助で助かったのだそうです。地域での防災・減災の推進が何より大切なことがわかります。



▲担架で人を運ぶ体験



▲全員が担架に乗り体験

体育館での講話のあと、3グループに分かれて活動しました。格技室では簡易の担架を使って救助する体験を一人一人が経験しました。



▲おにぎりとみそ汁を受け取る



▲乾パンをもらいます



▲試食する生徒たち



▲防災クロスワードに挑戦

調理室では、PTA・保護者の方にご協力いただき、非常食の試食を行っていただきました。アルファ化米は、水だけでもご飯に戻らせるすることができます。今回は五目ご飯で、お湯でみそ汁も作っていただいたので美味しく試食できました。非常食の乾パンも試食しました。手際よく協力してご用意していただきとても頼もしく感じまし

た。本当にありがとうございました。

体育館では、区役所の方による防災クロスワードに挑戦しました。今回の防災訓練はとても有意義なものとなり、人と人と、地域とのつながりの大切さを考えることができる活動となりました。

Jr.リーダが活躍！新東三国校庭キャンプ！

9月1日(土)、新東三国小学校で校庭キャンプが行われ、中学校からジュニアリーダたちがたくさん参加して運営にあたってくれました。



▲夕食準備で野菜を切る



▲カレーを作っています



▲ボールゲームを運営



▲カレーを手渡す生徒



▲火をおこすに必死だ



▲キャンプファイヤーでダンス

Jr.リーダたちは、夕食のカレーライスを作ったり、ゲーム大会で小学生と遊んだり、キャンプファイヤーでダンスをお手本として踊ったりしていました。

地域の様々な行事にも積極的に参加して、ボランティア活動を通して、地域の一員としてたくさんの人とコミュニケーションを図っています。

たくさんの地域の方々に見守られ、声をかけていただき、共に活動しながら運営に携わっている生徒たちを見ると、地域の将来を担う子ども達の成長に、とてもうれしい気持ちになります。